

シリーズ・大洲市地域づくり表彰

平成24年度「大洲市地域づくり表彰」を受賞されたみなさん(3個人、11団体)を、シリーズでご紹介します。



社会福祉・高齢者支援に貢献

肱北地区社会福祉協議会
会長 こうとく こうすけ 神徳 興甫さん
(肱北)

【神徳さんからのメッセージ】

肱北地区社会福祉協議会「肱北ふれあいの会」の活動は、民生児童委員が中心となり、高齢者のみなさんに安らぎの場を提供し、ふれあい食事サービスや地域の子どもたちとの交流など、月1回のペースで実施する楽しい会です。スタッフは約15人で、他に在宅福祉推進委員、婦人会、地域ボランティアなどで頑張っています。

使命感と責任感を持ち、20年の歴史があるこの会の灯を絶やさないよう、これからも積極的に活動を続けていきたいと思っています。



地域づくりに貢献

白滝フロンティア会
会長 やす お 別宮 康夫さん
(白滝)

【別宮さんからのメッセージ】

白滝フロンティア会は、昭和62年に地元の有志により設立されました。現在は約40人の会員で、うら盆まつりや滝まつりへの参加、白滝公園の環境整備活動など町おこしを中心に活動をしています。

これらの活動を継続することで、一人でも多くの観光客に白滝に来ていただけるようにしたいと思っています。

また、地域の子どもたちとの関わりを大切に、将来、私たちと一緒に活動してもらえようと思っています。



環境美化に貢献

青友会
会長 つよし 二宮 強さん
(上須戒)

【二宮さんからのメッセージ】

青友会は、平成20年に青年クラブから改名し、新たな会員も加わり結成しました。現在は11人のメンバーで地域のイベントへの参加や盆踊り大会の協力、ふれあい広場の草刈りなどの活動を行っています。

地元に残る若者が少なく、会員数を維持することに苦慮していますが、長く楽しく活動をしたいと思っています。

これからも、「汝の郷土を開発する者は汝自らなり」という先人の教えから学び、みんなで頑張って地域を盛り上げていきたいと思っています。



地域づくりに貢献

武内 や え こ 八重子さん
(八多喜)

【武内さんからのメッセージ】

私が地域づくりに力を入れるようになったのは、地域の活性化を図り、地域みんながいつも元気であられるようにしたいという思いからです。

今年のYOSAKOI祭りでは、地元の中学生在が自ら積極的に踊りに参加し、「来年もぜひ参加させてほしい」と言ってくれて、とてもうれしく、また、青少年健全育成の発展に一歩近づいたと感じています。

現在、地元に残る若者が減少していますが、これからも地域のつながりや絆を大切に頑張りたいと思っています。



がんばる大洲企業



菓子は平成3年に創業し、伝統ある菓子「志ぐれ」をメインに製造販売を行っています。商品は本店やオズメッセ、大洲駅構内のきよすくなどの市内施設をはじめ、市外でも販売されていて、長い間お客様に親しまれてきました。

製造時において弊店が最も重要視することは、原料となる小豆の選別です。本場に良いものを使用するために、毎日約10キログラム分の小豆を一つひとつ手にとって仕分けています。また、収穫時期によって小豆を炊く時間が微妙に異なり、それを調整することも重要な工程の一つです。現在の食感にたどり着くまでには、多くの研

菓子処 氣晴

「おいしい」お菓子を届けたい



究と長い年月を要しました。

豆の選別・炊き方は、でき上がった商品の味・食感に大きな影響を与えます。昔と比べ、便利な機械が増えましたが、細部のこだわりを追求するためには、やはり職人の目が必要だと思っています。

今年度認定を受けた「大洲ええモンセレクション」では、弊店が追求してきたこだわりが形となって評価され、より一層商品に自信を持つことができました。

今後、お客様の「おいしい」という声に応えるため、弊社独自のこだわりを提供します。

▽所在地 徳森2321・34
▽電話 ②54839

文化財

西方寺のオハツキイチョウ
大洲市指定天然記念物
西方寺所有



本樹は、大洲初代藩主加藤貞泰の開基と伝えられる西大洲の椎の森区にある西方寺境内にあり、根回り4.7m、目通り周2.9m、樹高約18m、樹齢約150年になる雌木のイチョウです。

枝張りは、東西に15.5m、南北に15mで、全体的にこんもりとした卵形の様相をしています。

「オハツキ」の名前は、葉の上に銀杏の実が付くことから由来しているもので、「お葉付き」とも記されます。

このように、実が葉の上に付く特異な形は、全国にも数少なく、大変珍しいもので、県内では四国中央市新宮のものや大洲市内藤縄のものなどが知られています。

(平成4年10月27日指定)

野鳥

シロハラクイナ(白腹水鶏)
ツル目クイナ科
大きさ32cm



琉球列島に留鳥として生息するクイナの仲間です。しかし最近、温暖化の影響なのか生息域を北上させていて、つい先日、西大洲の水田地帯で確認されました。四国での記録は数例ほどで大変珍しい種類ですが、元々クイナ類は水際の草地で生活しているため、人目に付くこと事態が稀です。

連日続く猛暑日も、化石燃料を使いすぎたために、人類が引き起こした異常気象と言われている。大きな地球ですが、実はとてもデリケートにできていて、全てが何らかの形でつながっています。

地道に生き物を観察することで、地球の悲鳴が聞こえてくるような気がします。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

¡Hola! (オラ。／こんにちは。)

6月19日、ニカラグアでの2年間の活動を終え、無事に帰国しました。最終となる今回は、学校でのお別れ会の様子と、帰国後のうれしかったエピソードを紹介します。

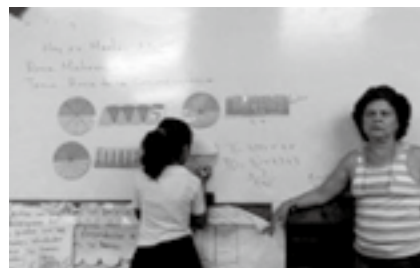
6月7日、マルリン先生とその子どもたち(4年生)がお別れ会を開いてくださいました。いつも「サトシ」「サトシ」と私のことを慕ってくれた子どもたち。彼らから思いがけないプレゼントをもらいました。お別れ会の途中、突然私の名前が呼ばれます。戸惑いつつ前に出ると、子どもたちから木のペン立てと刺繍の入ったタオルのプレゼントが！その日の日記に、こんな1文を綴っていました。



子どもたちからのプレゼント

“子どもたちからのプレゼント、うれしかったなあ。こんなに僕のことを愛してくれて、本当にありがとう。”

こうして2年間のニカラグア生活に別れを告げたのですが、先日、うれしい便りが届きました。アナ先生のFacebookに授業風景の写真と、「ありがとう、サトシ。」というメッセージが載せられていたのです。そこには、帰国前の研修会で紹介した教材を用いて授業をするアナ先生の姿が映っていました。



アナ先生の授業風景

子どもたちから愛されて、先生方と学び合った2年間は、私にとってかけがえのない経験となりました。また、たくさんのニカラグアの人たちに支えていただきました。算数の教員としての私の活動が、少しでもニカラグアへの恩返しとなったならば幸いです。

大洲市消費生活 センター通信

「送料無料3日か5日届きます」
おかしな日本語の怪しい通販サイトに注意！

「インターネットの通販サイトで、高価なブランド品(バッグや貴金属、時計など)や入手困難な商品が非常に安く販売されていたが、注文し代金を振り込んでも商品が届かない。または、届いた商品が偽物である」といった相談が全国的に多く寄せられています。国内のサイトのように見えますが、その実態は海外にあります。

【怪しい通販サイトの特徴】

- ▽商品の価格がとて安い。
- ▽会社の住所や電話番号などの記載がない。連絡方法がメールしかない。
- ▽支払方法が口座振込しかない。
- ▽振込先が外国人名である。
- ▽日本語の表記であるが、表現が不自然である。

【被害にあわないために】

- ▽価格があまりにも安いなど疑わしい場合は、手を出さないようにしましょう。
- ▽日本では、通販サイトには事業者の住所や連絡先などの情報を記載しなければなりません。

連絡先などの事業者情報をきちんと確認し、安心して利用できるサイトか確認しましょう。

▽利用する場合は、キャンセルや返品条件など利用規約をよく確認しておきましょう。

インターネット通販はとても便利ですが、特に相手が海外の場合、相手と連絡がとれなくなると、返金などの解決は困難です。利用の際は注意しましょう。

【問い合わせ先】

大洲市消費生活センター
☎24 1790

【相談受付時間】

午前9時～正午
午後1時～5時
※月曜日・金曜日(祝日除く)



そのサイト、本当に大丈夫？





8月14日(水)

ふるさとの夏の思い出

～かわべふるさと祭り～

河辺地域のお盆恒例行事である「かわべふるさと祭り」が、ふるさと公園で開催されました。

カラオケ大会や歌謡ショーをはじめ、盆踊り大会や地元中学生と保存会による扇子踊りの披露など、たくさんの催し物が行われ、大勢の地元の人や帰省客でにぎわいました。

祭りの最後には、音が山間にこだまする大迫力の花火を楽しみ、会場は大いに盛り上がりしました。



8月12日(月)

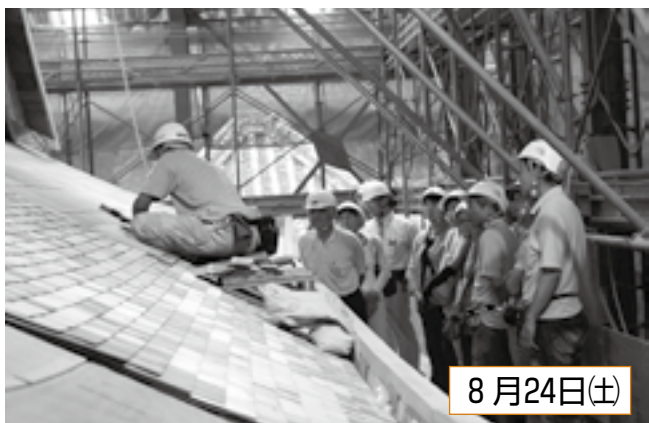
はじめての海外生活

～大洲市中学生海外派遣事業帰国報告会～

大洲市中学生海外派遣事業の帰国報告会が、大洲市総合福祉センターで行われました。

今年度は市内8校の生徒12人が、オーストラリアのケアンズで現地の人と交流を行いました。帰国した生徒たちは、初めての海外生活で体験したことや楽しかった思い出、派遣事業に携わった関係者への感謝の言葉を述べていました。

大洲市ではこの事業を通じて、大洲市の未来を担う人材育成に努めています。



8月24日(土)

匠の技に感心

～「如法寺仏殿」修理現場見学会～

現在、修理工事が進められている柚木の重要文化財「如法寺仏殿」で、現場見学会が開催されました。

当日は、「瓦葺き」や「土居葺き」といった職人技を間近で見学することができました。なかでも、口に含んだ竹釘でリズム良く薄い板を屋根に打ち付けていく匠の技には、参加したみなさんはとても興味深く見入っていました。

修理工事は来年9月まで行われる予定です。



8月13日(火)

神秘で幻想的な神楽の舞

～山鳥坂鎮縄神楽～

県無形民俗文化財に指定されている「山鳥坂鎮縄神楽」が、肱川町岩谷地区の旧岩谷小学校で行われました。

この鎮縄神楽は、300年以上の歴史を持ち、平成10年にはロンドンでも公演されました。また、岩谷小学校の廃校を機に夏の夜神楽を始め、今年で16回目となります。

今年も市内外から約500人が訪れ、太鼓や鐘のリズムで踊る神楽の舞いに引き込まれていました。



ありがとうの気持ちをかたちに ～親子あそび～

親子のふれあいや育児支援を目的に、肱川・河辺地区の1歳半～3歳児を持つ親子を対象とした「親子あそび」が、肱川保健センターで行われました。

当日は親子10組、計25人が参加し、子育て支援センターの保育士と一緒に、お年寄りへのプレゼント（牛乳パックの小物入れ）を作りました。

今回の「親子あそび」を通して、親同士、子ども同士のコミュニケーションが深まり、会場は和気あいあいとしていました。



私たちの手で地域をきれいに ～肱川流域一斉清掃～

肱川流域清流保全推進協議会（大洲市、西予市、伊予市、内子町、砥部町、愛媛県、国土交通省）では、肱川流域一斉清掃を実施しました。

当日はあいにくの雨となり、8会場のうち4会場での開催となりましたが、105人の参加者は、河川周辺のゴミ収集から河川公園の草刈りまで、会場周辺の状態に合わせた清掃を行いました。

協議会では、今後も流域住民が一体となれるような取り組みを、継続実施していきます。



大洲の秋の風物詩はじまる ～いもたき初煮会～

およそ300年の歴史がある大洲の「いもたき」シーズンの訪れを告げる初煮会が、如法寺河原で開催されました。

会場では、大鍋で作られた「いもたき」1,000人分が無料で振る舞われ、家族連れなど大勢の人でにぎわいました。

また特設ステージでは、臥龍太鼓やYOSAKOI演舞、肱川出身のシンガーソングライターTAKUROUライブが行われ、訪れた人を楽しませていました。



夏の終わりはうら盆で ～白滝うら盆まつり～

白滝地区で夏の風物詩になっている「白滝うら盆まつり」が、白滝公民館で開催されました。

今年はあいにくの雨模様となり、屋外での開催はできませんでしたが、室内でもコンサートや盆踊り、餅まき、宝まきなどのイベントが行われました。また、地区内の各所では造り物が出展され、祭りに花を添えていました。

雨も収まった午後9時ごろには、白滝大橋下の河原から花火約100発が打ち上げられ、華やかなクライマックスとなりました。